

NACOME

全国大学音楽教育学会 関西地区学会  
令和元年度 総会、及び前期研究会

\*\*\*\*\*

令和元年 8 月 4 日（日） 13：00～16：30

三木楽器開成館

大阪府中央区北久宝寺町 3-3-4

主催 全国大学音楽教育学会 関西地区学会

# 全国大学音楽教育学会 関西地区学会

## 令和元年度 総会、及び前期研究会

### プログラム

#### I. 総会・学会諸連絡（13：00～13：45）司会：山岸 徹

1. 学会諸連絡、理事会報告、その他（山岸 徹、桐山 由香）
2. 平成30年度活動報告（山岸 徹）、平成30年度決算報告（金井 秋彦、岡田 知也）
3. 令和元年度活動計画（案）（山岸 徹）、令和元年度予算（案）（金井 秋彦、岡田 知也）
4. 報告)
  - ① 「関西地区学会誌」創刊の件
  - ② 2020年度全国大会《奈良大会》開催の件（会員の皆様への協力依頼）
  - ③電子メールでの連絡の件
5. その他

\* \* \* \* \*

## II. 研究演奏発表 (13:50~13:25)

1. ピアノ独奏 久野 以早夫 (東京福祉大学名古屋キャンパス)  
ショパン作曲: 24の前奏曲集 作品28 より 第15番「雨だれの曲」
2. ピアノ独奏 小谷 朋子 (常磐会短期大学)  
ドビュッシー作曲: 前奏曲集 第2巻 より  
第4曲「妖精はすてきな踊り子」、第5曲「ヒースの茂る荒れ地」
3. 独 唱 ソプラノ 伊藤 菜穂美 (武庫川女子大学)  
ピ ア ノ 丸井 理恵 (常磐会学園大学)  
リチャード・ロジャース 作曲 (オスカー・ハマースタイン2世 作詞)  
『サウンド・オブ・ミュージック』より  
「サウンド・オブ・ミュージック」、「エーデルワイス」、「すべての山に登れ」
4. ピアノ連弾 プリモ: 山本 敬子 (佛教大学)、セコンド: 生地 加代 (武庫川女子大学)  
モーツァルト 作曲: 「四手のためのピアノソナタ」八長調 K.521 より 第1楽章

\* \* \* \* \*

休 憩

## III. 講 演 (14:40~16:20)

講師: 虫明 眞砂子 氏

演題: 歌声の溢れる音楽科の授業

質疑応答 司会: 永井 正幸

## 講演要旨

### 演題：歌声の溢れる音楽家の授業

歌唱活動は、本来、身体を楽器とするため身体や心が解放され、表現活動・創作活動を通して感性を豊かにすることができるものである。また、合唱活動においては、一人では決して感じることでできない響きの厚みやハーモニーを体感することができ、さらに、仲間と一つの音楽を創り上げる中で一体感を味わうことができるとともに、喜びや悲しみを共有し、感動を分かち合いながら絆を深めていくこともできる。

しかし、現実の学校現場では、歌うことに苦手意識を持つ子どもや、歌うことに対して消極的な態度の子どもが多く見られる。児童生徒の多くが、小学校の低学年まではよく歌うが、学年が上がるにつれて歌わなくなるのはなぜだろうか。この原因は様々に考えられるが、歌わなくなる原因を教える教員がしっかり把握し、丁寧に対応していく必要がある。当然のことながら、自ら声を出せないと歌唱の授業は楽しめないで、そのための環境作り、雰囲気作りも重要と考える。

今回、私が訪問したハンガリーや米国等の児童の歌声をいくつか紹介したい。両国の歌唱の授業は、各々の児童生徒は、自然に歌を楽しめる授業であった。これらを参考にしながら、歌声の溢れる音楽科の授業について、参加された皆さまとともに考えていければと思う。

### 【虫明 眞砂子 先生：プロフィール】

(MUSHIAKI Masako)

愛知県立芸術大学卒業、同大学院修了。演奏名、高橋昌子。第21回日伊声楽コンクール第1位（日伊音楽協会、読売新聞社主催）を受賞し、イタリア国立ヴェルディ音楽院に留学。2003年～2004年文部科学省在外研究員として、米国インディアナ州立大学音楽学部で児童の歌唱や合唱の研究を行う。桑原賞（愛知県知事賞）、日本演奏連盟賞、岡山県文化奨励賞等を受賞。演奏活動では、津山国際音楽祭オペラ「魔笛」、岡山シンフォニーホール開館記念オペラ「ワカヒメ」、倉敷音楽祭オペラ「ラ・ボエーム」、「夕鶴」等に主演。ソフィア国際音楽祭の「フォーレクイエム」、「第九」等のソプラノソロを務める。インディアナ大学にてゲストリサイタル、全国二期会サミットコンサート出演など幅広く活動している。また、文科省科学研究費により、日本国内はもとより、ハンガリー、フィンランド、イタリア、米国等の学校教育機関の合唱団の視察を行い、合唱指導法や発声法を研究し、論文発表や学会発表も多数行っている。

現在、岡山大学教授、中国二期会理事長。日本声楽発声学会、日本音楽教育学会、日本音楽表現学会、日本音響学会、神戸波の会各会員。



## 研究演奏発表要旨

### 1. ピアノ独奏 ショパン作曲：24の前奏曲集 作品28 より 第15番「雨だれの曲」

久野 以早夫（東京福祉大学名古屋キャンパス）

ショパンの「24の前奏曲集」は、バッハの「平均律クラヴィーア曲集」から大きな影響を受けたと言われており、平均律における24の全ての調性を用いて書かれている。

前奏曲集は、一曲一曲が極めて簡素に書かれているが、そのなかには豊かなロマンをたたえた美しいメロディーが絶え間なく流れ出て、聴く者の心に真っすぐに流れ込んでくる。穏やかな長調の曲と激情あふれる短調の曲が交錯してドラマを築きあげているところが魅力的である。

第15番「雨だれの前奏曲」は、最も有名な作品で「ショパン名曲集」の定番中の定番と言われている。夢見のような変二長調の旋律は穏やかで優美であるが、嬰ハ短調の中間部は荘厳で威厳に満ちている。

今回の研究演奏では、ショパンがこの曲で表出させた、絶望と希望を体感したい。

### 2. ピアノ独奏 ドビュッシー作曲：前奏曲集 第2巻 より

#### 第4曲『妖精はすてきな踊り子』、第5曲『ヒースの茂る荒れ地』

小谷 朋子（常磐会短期大学）

ドビュッシーは前奏曲集第2巻において、第1巻の作曲上の要素を練り直し大きな展開を試みた。具体的には、第2巻では全曲を通して三段譜が用いられ、対位法による旋律の重なりや黒鍵と白鍵による音のぶつかり、さらに音の層の際立ちがより一層目立つようになる。

第2巻第4曲『妖精はすてきな踊り子』では、断片的なモチーフやペダル音に支えられているひらひらと舞うような高音部トリルが最も印象的である。ラッカムの挿絵からインスピレーションを得たドビュッシーが、譜面上において、まるで妖精たち（トリル）が蜘蛛の巣（ペダル音）の上で踊っている様子をそのまま音の層として記譜したように目で捉えられる。また、第5曲『ヒースの茂る荒れ地』では、冒頭の3小節の旋律から成る和音（F<sub>7</sub>）は前曲の終結部の断片から引用されており、加えて第1巻第8曲『亜麻色の髪の乙女』の冒頭のフレーズとよく似ていることも特徴的である。

第2巻第4曲、第5曲に見られる特質は、作品を繋ぐ特定の音と音楽の広がりをもたらす中声部の効果性、そしてペダリングやペダル音に依る低音部の支えであり、発生するモチーフの複雑さも音楽に豊かな色彩感を与えていると考える。

3. 独 唱 リチャード・ロジャース作曲（オスカー・ハマースタイン2世作詞）  
『サウンド・オブ・ミュージック』より  
「サウンド・オブ・ミュージック」、「エーデルワイス」、  
「すべての山に登れ」

ソプラノ 伊藤 菜穂美（武庫川女子大学）  
ピ ア ノ 丸井 理恵（常磐会学園大学）

メアリー・マーティン主演のミュージカルとして世に出た「サウンド・オブ・ミュージック」は、1965年公開の映画（監督：ロバート・ワイズ、主演：ジュリー・アンドリュース）で、より身近な作品となった。

今期担当した4回生の授業で、鑑賞教材を探す中、例えば“エーデルワイス”や“ドレミの歌”など、教科書に載っている歌が登場する「サウンド・オブ・ミュージック」を取上げようと考えた。

英語が、小学校やときには幼稚園から取上げられるようになったが、英語の歌を聞いて耳から学ばせたり、又ミュージカルの映像の中で、出演の子供たちが話したり歌う様子を見て、英語に親しみを感じてもらう事もできるだろう。

鑑賞教材から、実際の英語での歌唱に結び付けられるよう、学生にも英語での歌唱をやらせてみたいと考え、「サウンド・オブ・ミュージック」から3曲を選んで今回演奏する。

最後に、英語の発音に関してアドバイスを受けた、育英西中学高等学校英語科講師である伊藤歩氏に感謝の意を表したい。

4. ピアノ連弾 モーツァルト作曲：「四手のためのピアノソナタ」ハ長調 K.521 より  
第2楽章

プリモ：山本 敬子（佛教大学）  
セコンド：生地 加代（武庫川女子大学）

モーツァルトが作曲した四手のためのピアノ作品は、幼年時代から円熟期へと続く彼の創作活動の全体に及んでいる。しかし、このジャンルで書いた作品は決して多くはない。四手のためのピアノソナタは6曲あるが、このうち1曲は未完となっている。また、ピアノソナタの他に変奏曲も作曲している。

★四手用ピアノソナタ

1. ハ長調 K.19 d 1765年 ロンドンにて
2. 変ロ長調 K.358 1774年 ザルツブルグにて
3. ニ長調 K.381 1772年 ザルツブルグにて
4. ヘ長調 K.497 1786年 ウイーンにて
5. ハ長調 K.521 1787年 ウイーンにて
6. ト長調 K.357 日付なし 未完

→ ユーリウス・アンドレによって補筆され 1853 年に J.アンドレ社により出版された  
★ アンダンテと 5 つの変奏曲 ト長調 K.501 1786 年 ウィーンにて

ユニヴァーサル社による原典版楽譜には、モーツァルトが完成した四手用のクラヴィーア作品だけでなく、上記 6. 未完のト長調 K.357 をユーリウス・アンドレが補筆し完成したもの、加えて対位法の習作と思われるフーガト短調 K.401、および最も円熟した時期に作曲された自動オルガンのための作品 2 曲（ヘ短調 K.594 とヘ短調 K.608）が編作の形で含まれている。

四手のためのピアノソナタハ長調 K.521 は、モーツァルトが 31 歳の時にウィーンで作曲、1787 年 5 月 2 日に完成した。最初は 2 台のクラヴィーア（ピアノ）のために作曲したらしい。モーツァルトの親友ゴットフリートとピアノの弟子で美貌の才媛として知られたフランツィスカのジャカン兄妹に捧げられた。作曲完成前日の 1787 年 5 月 28 日の早朝にモーツァルトの父レオポルドが亡くなっているが、父の死を知らないモーツァルトは、その翌日にこの曲を完成させている。モーツァルトは父の死にも駆けつけず、埋葬にも立ち会わなかった。

\* \* \* \* \*

## ●お知らせ

- ・全国大学音楽教育学会 第 35 回全国大会《札幌大会》  
2019 年 8 月 22 日（木）～24 日（土） 札幌ガーデンパレス  
※申込締切は、8 月 9 日（金）です。
- ・全国大学音楽教育学会 関西地区学会 令和元年度 後期研究会  
2020 年 1 月 12 日（日） 三木楽器開成館
- ・全国大学音楽教育学会 第 36 回全国大会《奈良大会》  
2020 年 8 月 27 日（木）～29 日（土） 奈良春日野国際フォーラム 薨
- ・諸連絡の電子メール活用について（お願い）：  
過日お知らせしましたとおり、今後順次、可能な範囲で電子メールを利用してゆきます。  
ご理解、ご協力をお願いいたします。
- ・全国大学音楽教育学会 関西地区学会誌 創刊号 vol.1 2019 について：  
残部が若干数ございます。実費（¥600）にて販売いたします。